



11月初めの週末、お天気にも恵まれ穏やかな秋の日となった2日間、「秋の祭典」を無事に開催することができました。

展示、発表、イベント、販売など、児童生徒はお客さんを前にして緊張もあったと思いますが、それぞれが自分らしさを発揮して日ごろの学習成果を発表する機会となりました。

校内では、授業で作った作品の展示に足を止めて一つひとつ見てくださる方、体育館のステージ発表に客席から手拍子や応援をしてくださる方、作業学習の製品をじっくりと見てくださる方など、保護者の皆さまをはじめ、ふだんから児童生徒をいろいろな形で応援してくださっている方々のたくさんの暖かい眼差しを感じました。

2日目の終了時には、高等部の生徒と一緒にフィナーレの放送を行ないました。そこに集まった生徒たちの表情には、やり遂げた満足感と自信があふれていました。わずかな時間ではありましたが、放送前のひととき、学部や学年の枠をこえて和やかに会話をしながら過ごす様子を見て、この2日間の体験から人と力を合わせることや、人との関係づくりを学んだ生徒たちの成長を感じました。



小学部、中学部、高A、高B、分教室と、いつもはそれぞれの場所で学習に取り組んでいる児童生徒ですが、「秋の祭典」は学校全体で一つの行事を行なうことにより、お互いに見学し合うことができる交流の機会にもなっています。様々な思い出や経験を次につなげていきたいと思います。

保護者の皆さまをはじめ、ご来場くださった皆さまに、この場を借りてお礼申し上げます。

10月下旬には岩手県で「第16回全国障害者スポーツ大会」が開催されました。この大会は毎年国体終了後に開催されていますが、川崎市から出場した本校高等部の生徒が今年も大活躍をしてきました。すでに朝夕は寒いくらいの気候だったようですが、ふだんから学校の陸上クラブでも練習してきた力を発揮し、200mでの金メダルをはじめ、見事な結果を報告してくれました。仲間とともに身体を動かす楽しさを通して、自分の目標に向けて一歩ずつ努力する姿は、周りの人にも勇気を与えてくれます。学校生活を送る中で一人ひとりの児童生徒が自分の好きなこと、得意なことを通して人とのつながりを深めたり広げたりしながら「丈夫に」「豊かに」「なかよく」生きる力をさらに高めてほしいと願っています。

さて、すでにご案内しているところですが、12月より「なかよう保護者学習会」を全6回開催いたします。内容は「交流（井田小との学校間交流、学部間の交流）」「食育（配慮食調理方法、レシピ）」「ICT（タブレットの利用、アプリ紹介）」「パラスポーツ（ボッチャ体験）」「介助法や姿勢（PT・OT 専門職）」「地域交流（各学部の実践報告）」の予定です。情

報提供や取り組みの報告をしながら、共に学び合っていきたいと思っております。多くの保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。